

## 原稿の表記についてのお願い

### 1 見出し符号

(1) 項目を細別するときは、次の例によってください。

#### 1 □見出しレベル 1

□□全角 2 文字分の字下げとなります。2 行目に続く場合は全角 1 文字分の字下げ□となります。  
す。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

#### (1) □見出しレベル 2

□□□全角 3 文字分の字下げとなります。2 行目に続く場合は 2 文字分の字下げと□□となります。  
す。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

#### □□ア□見出しレベル 3

□□□□全角 4 文字分の字下げとなります。2 行目に続く場合は 3 文字分の字下げ□□□となります。  
す。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

#### □□ (ア) □見出しレベル 4

□□□□□全角 5 文字分の字下げとなります。2 行目に続く場合は 4 文字分の字下□□□□げとなります。  
す。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

#### □□□□ a □見出しレベル 5

□□□□□□全角 6 文字分の字下げとなります。2 行目に続く場合は 5 文字分の字□□□□□下げとなります。  
す。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

#### □□□□ (a) □見出しレベル 6

□□□□□□□全角 7 文字分の字下げとなります。2 行目に続く場合は 6 文字分の□□□□□□字下げ  
となります。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

(2) 見出し符号には「、」をつけず、1 字分空白として次の字を書いてください。“□”は、字下げを示しています。

### 2 下記の漢字については、原則ひらがなで表記をお願いします。

- ・ 及び → および [接続詞の場合]
- ・ 又は → または [接続詞の場合]
- ・ 若しくは → もしくは [接続詞の場合]
- ・ 並びに → ならびに [接続詞の場合]
- ・ 或いは → あるいは
- ・ 下さい → ください
- ・ 様々 → さまざま
- ・ 更に → さらに
- ・ 既に → すでに
- ・ 是非 → ぜひ
- ・ 但し → ただし
- ・ 為、 → ため、

- ・ 出来る → できる
- ・ 尚 → なお
- ・ 何故 → なぜ
- ・ 故に → ゆえに
- ・ 於いて → おいて
- ・ 当たって → あたって

3 下記の言葉について、原則送り仮名の統一をお願いします。

- ・ 「行う」「行なう」は原則「行う」とする。
- ・ 「判った」「分った」は原則「分かった」とする。
- ・ 「取り組み」「取組み」「取組」は原則「取り組み」とする。
- ・ 「一人一人」は原則「一人ひとり」とする。